



健康経営の方針・体制

ハッピーなひとときを、
ボトルから。
We bottle happy moments.

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.

健康経営責任者メッセージ



私たちは、「すべての人にハッピーなひとときをお届けし、価値を創造する」ことをミッションとしております。人々の日々の暮らしに寄り添う企業として、常に健康を第一に考え、お客さまに価値ある製品・サービスを提供することにより、健康で豊かな未来の実現に貢献いたします。

これを実現するためには、社員一人ひとりが活動的かつ健康的なライフスタイルを送り、安心して楽しく働くことが大前提だと考えています。

安心な就業環境の整備、健康リスクの改善、自身の健康に向き合う機会の充実、多様な働き方の推進、健康的なライフスタイルの促進、という5つの基本方針に基づき、積極的に健康経営に取り組んでまいります。

代表取締役社長 最高経営責任者
カリン・ドラガン

健康経営推進の目的

CCBJIのMission「すべての人にハッピーなひとときをお届けし、価値を創します」を達成するため健康経営を通じたウェルビーイングを推進していきます。

Mission
Deliver happy moments
to everyone

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.

Well Being

健康経営

■ CCBJIの目指す健康経営

社員が在籍している間もCCBJIを卒業した後の人生においてもハッピーなひとときを過ごせるように
～“Road to 100” 100才でも元気な体を目指して～ を健康宣言にかかげ日々の健康増進をサポートしていきます。

コカ・コーラ ボトラーズジャパン健康宣言

“Road to 100”
～ 100才でも元気な体を目指して ～

コカ・コーラ ボトラーズジャパンは、サプライヤーをはじめ、カスタマー、消費者含む地域・社会における健康増進への取り組みを支援することにより、社会課題の解決につなげ、健康で豊かな未来の実現に貢献します。

そのためには、社員自らが活動的かつ健康的なライフスタイルを送り、安心して・楽しく働くことが大前提であると考えます。社員一人ひとりが自律的な健康保持・増進活動を行うことを責務として認識し、健康保持・増進に向けたあらゆる取り組みを進め、「健康第一」の企業風土醸成をはかります。



健康経営課題と目標

過去からの健康診断結果より、①BMI25以上割合、②高血圧割合、③喫煙者割合を重要改善指標として取り組みを進めています。

健康課題	2020年 実績	2021年 実績	2022年 実績	2023年 実績	2028年 目標	
労働災害発生率（全労働災害件数×200,000÷総労働時間）	0.41	0.55	0.51	0.39	0.40	
二次検診受診率	44.3%	54.1%	57.4%	49.4%	100.0%	
BMI25	重点改善指標	34.4%	35.6%	36.0%	35.3%	31.4%
高血圧	重点改善指標	28.6%	30.6%	30.6%	27.3%	20.2%
喫煙	重点改善指標	40.6%	39.2%	39.2%	38.0%	21.0%
高ストレス者		10.5%	16.6%	14.2%	15.2%	10.0%
プレゼンティズム	-	90.3%	94.3%	92.6%	90.0%	
アブセンティズム		1.3日	1.8日	1.8日	0.8日	1.0日

目標は厚生労働省のデータと自社の状況を踏まえて設定

健康経営の基本方針

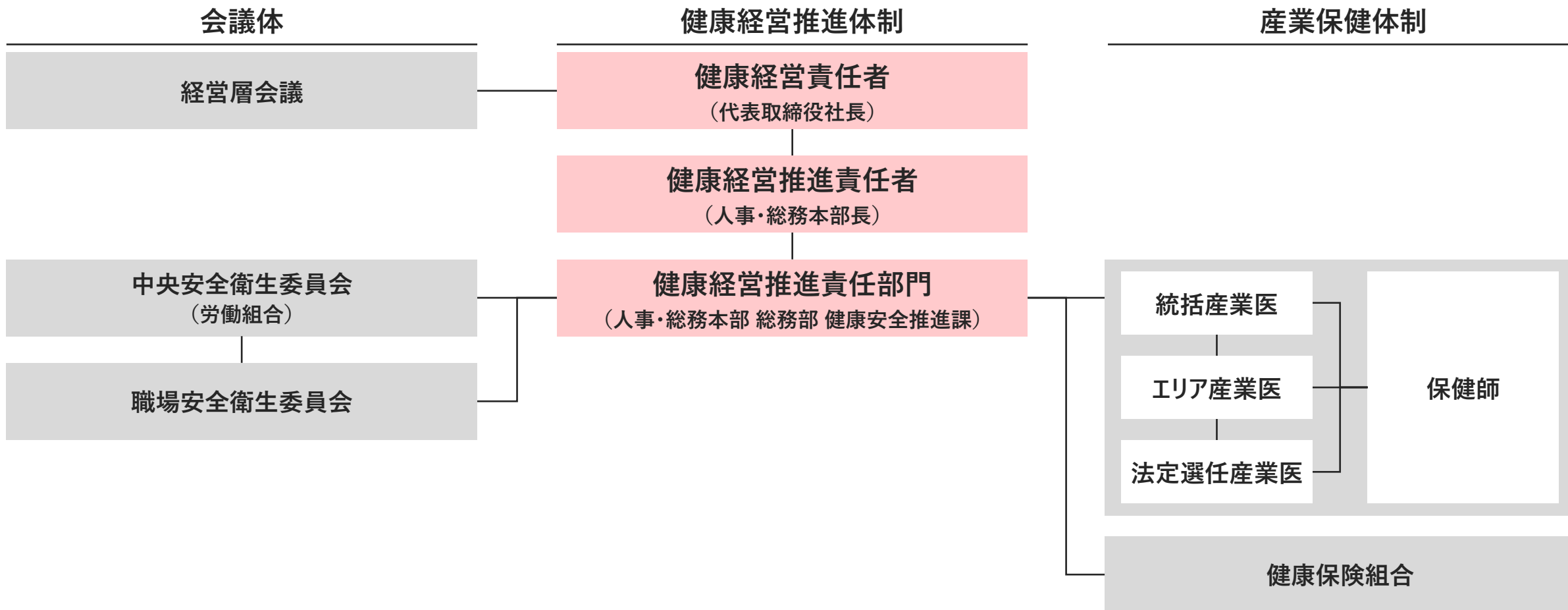
健康課題を改善しCCBJIの目指す健康経営を推進するため5つの基本方針を定め各種施策を実施しています。

5つの基本方針

- 1 Safety** 安心な就業環境の整備
- 2 Start** 健康リスクの改善（早期発見・早期治療）
- 3 Self** 自身の健康に向き合う機会の充実
- 4 Smart** 多様な働き方の推進
- 5 Sawayaka** 健康的なライフスタイルの促進

組織・協力体制

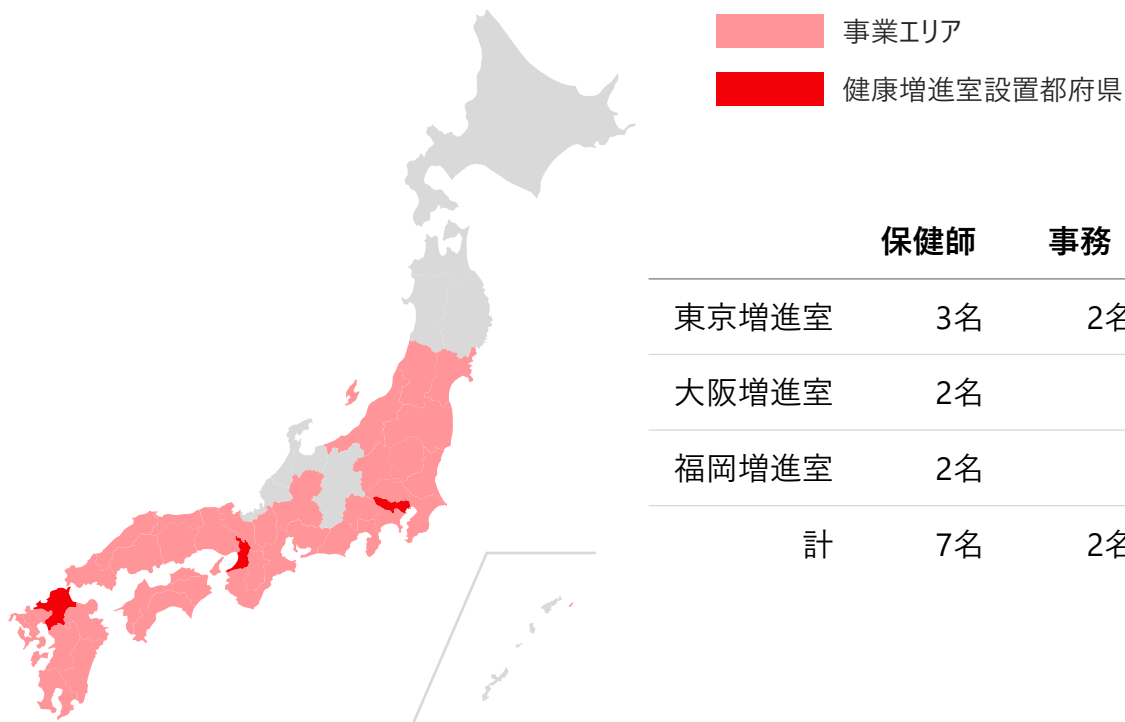
健康経営責任者である代表取締役社長が経営層を巻き込みながら、健康経営推進責任部門にあたる健康安全推進課が労働組合や産業保健スタッフと連携しグループ全体の健康推進を横断的に実施しています。



健康相談対応の体制

社内相談窓口では東京、大阪、福岡の3拠点に健康増進室を設置し対面・オンラインで相談に対応しています。社外相談窓口では24時間電話対応可能な窓口を設けて社員やその家族からの健康相談に対応しています。

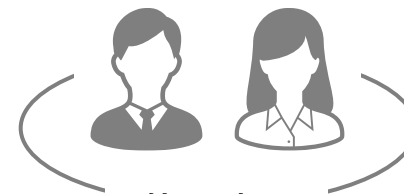
社内相談窓口



社外相談窓口



24時間対応可能
電話相談窓口



社員に加え
家族も利用可能

相談件数推移 (件)





取り組み内容とその結果

ハッピーなひとときを、
ボトルから。
We bottle happy moments.

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.

Safety 安心な就業環境の整備

安全衛生体制

労使による安全衛生の会議体にて全社方針を決定し下部組織との連携によって安心・安全な環境の維持に努めています。

会議体	主な参加者	開催頻度
中央安全衛生委員会	安全衛生主管部門、労組組合	年2回
部門別委員会	安全衛生主管部門、部門管理職	年2回
職場安全衛生委員会	各職場の委員	年12回

解決できない問題をエスカレーション

リスクアセスメント

リスクアセスメントを継続実施し、調査結果に基づきリスク軽減策を実施しています。各拠点の取組みを共有、水平展開する事で職場環境の改善に取り組んでいます。

リスクアセスメント結果一覧		リスクアセスメント結果一覧	
作業・工程	別	リスクレベル	対策
搬入	搬入	1	1
搬出	搬出	1	1
...

リスクアセスメント記入シート



好事例を共有し水平展開

安全研修

2021年に開設したSafety Learning Centerを活用し体験型の安全研修を通して危険性への理解向上に努めています。



Safety Learning Center



巻き込まれや転倒体験が可能

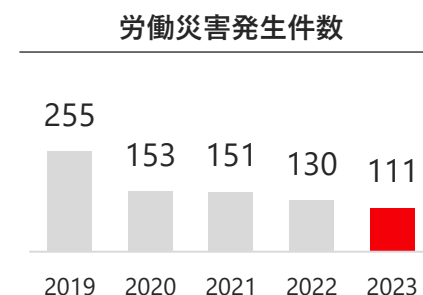
受講者数
2021年 45人
2022年 389人
2023年 312人

事故調査会議

労働災害が発生した際は事故調査会議を開催しフィッシュボーンと5回のなぜにより真の発生原因を追及。防止策策定によって類似災害の再発防止につなげています。



フィッシュボーンと5回のなぜを用いて真因を追及

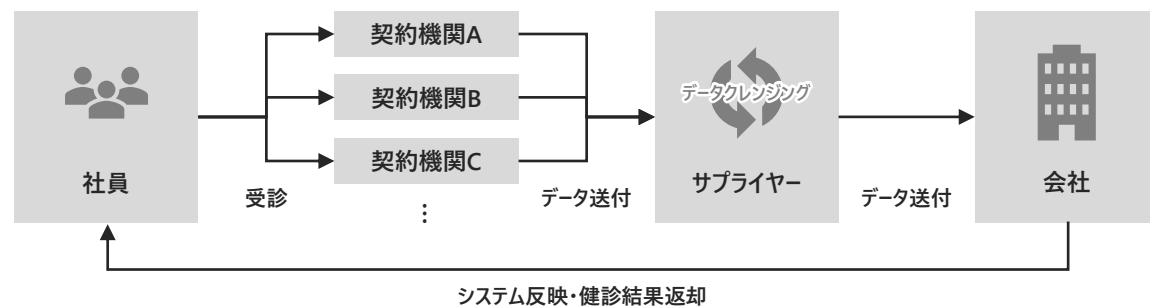


Start 健康リスクの改善（早期発見・早期治療）

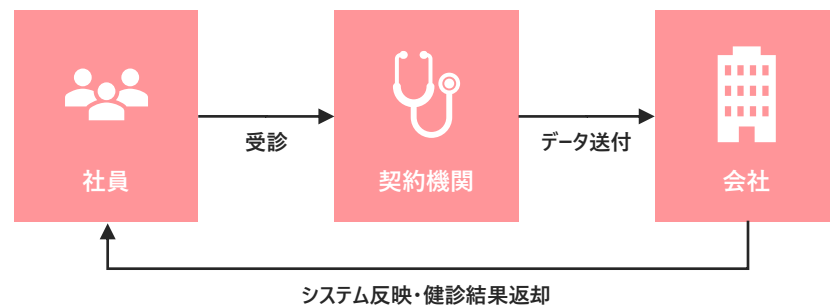
健康診断結果の早期返却

診健診から診断結果の返却までを1ヶ月以内を目指す契約医療機関の集約を実施し、疾病リスクを速やかに通知できる体制を整備しました。

これまで



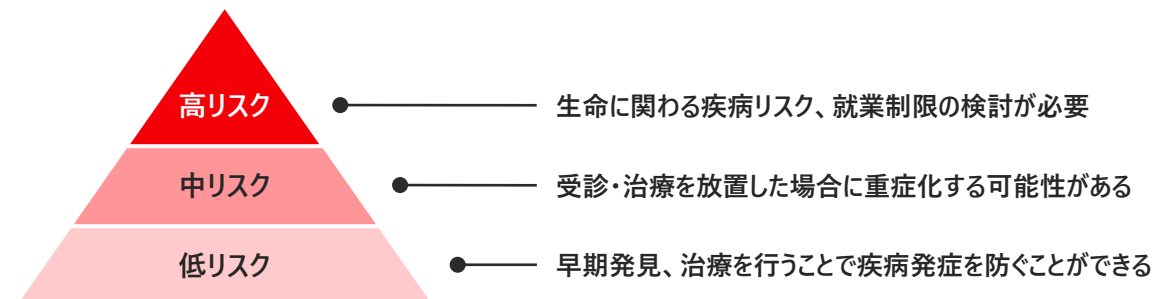
現在



約 **1.5**ヶ月
短縮

2次検診受診勧奨

健診結果に所見がある社員を確実に再検査につなげるためリスクを3段階に分類し、高リスク者から順に保健師による勧奨をすることで受診率向上につなげています。



任意健診

会社からの補助金最大22,000円と健康保険組合による補助金によって本人負担実質0円から任意健診（人間ドック等）を受診できる体制を整備しています。

NEW / 生活習慣病予防健診
2023年6月からスタート

対象年齢 35歳～74歳
受診機関 協会けんぽと契約している全国約 3,500 医療機関
自己負担 0 円から受診可能

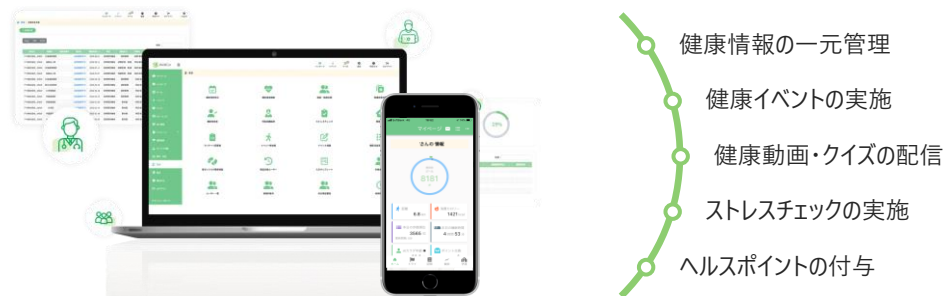
- 眼底検査
- 腹部超音波検査
- 乳がん検診
- 子宮頸がん検診
- 肺炎ウイルス検査

をつけても実質負担額 **0** 円

Self 自身の健康に向き合う機会の充実

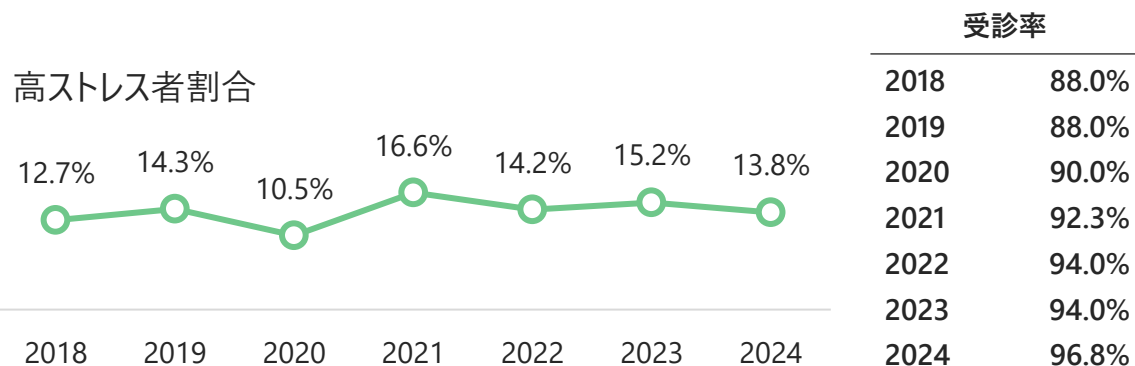
健康アプリWellGoの導入

全社員に貸与しているスマートフォンに健康アプリWellGoをインストールして自身の健康を総合的に管理できる体制を整備しています。



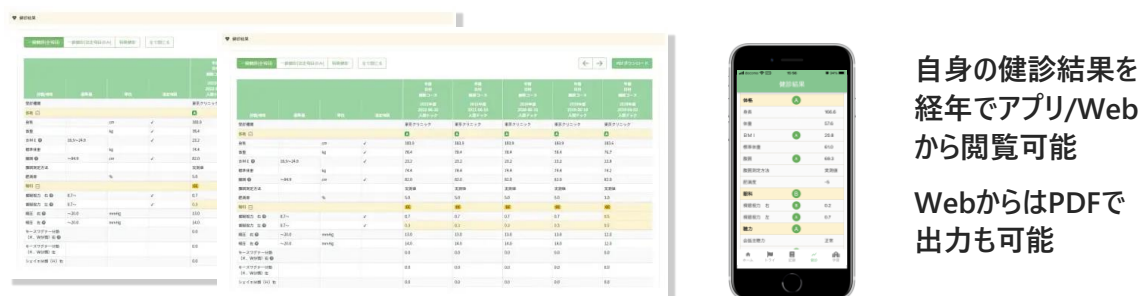
ストレスチェック

全社員にストレスチェックを実施しメンタル不調の未然防止につなげています。



健康診断結果のデータ化

健康アプリWellGoの導入によって過去からの健康診断結果をWebからも全社員に貸与しているスマートフォンからも確認できるようになりました。



健康リテラシーの向上

健康経営に関わるセミナー、e-learning、動画配信を実施して社員のリテラシー向上に努めています。



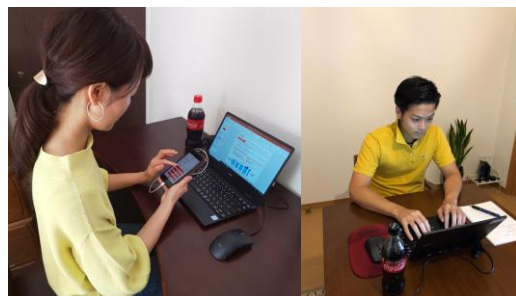
Smart 多様な働き方の推進

スーパーフレックス・在宅勤務

コアタイムのないフレックス制度としてスーパーフレックスを導入し、在宅勤務等と組み合わせメリハリのある生活を支援しています。



朝のラッシュを避けての通勤や自転車通勤も可能



在宅勤務でワークライフバランスを支援

病気になった後の休暇

休職や治療に利用できる「通院時特別有給休暇」「復職時通院休暇」「時短勤務制度」を設けています。

通院時特別有給休暇

復職時通院休暇

治療、検査又は経過観察等のために通院を必要とする場合や、復職時に年次有給休暇の付与日数がないとき各月1回特別有給休暇を取得できる制度

時短勤務制度

がん（悪性新生物）、急性心筋梗塞、又は脳卒中の治療および療養後の負担軽減が必要と申し出た者について、所定の手続により1日の所定労働時間を短縮する措置

育児休暇

男性の育休認知度を高めるために、子どもが生まれた男性社員へ「パパエプロン」を手渡すことで、周囲に育休取得への協力を仰ぎ本人へ育休取得を促しています。



上司からパパエプロンの贈呈

男性社員の育児の様子

介護休暇・介護休業

要介護状態にある家族の介護をするために休暇を請求した場合対象者1人につき年間5日の有給休暇が取得でき、介護休業は通算365日の取得が可能です。

介護休暇

法律 ▶ CCBJI
5日 (無給) 5日 (有給)

介護休業

法律 ▶ CCBJI
93日 365日 (93日まで休業給付)

Sawayaka 健康的なライフスタイルの促進

ウォーキングイベント

健康アプリWellGoを活用してSawayakaウォークと題したウォーキングイベントを実施し運動習慣化のサポートと社員同士のコミュニケーション活性化を促進しています。

イベント参加人数と平均8000歩以上の推移

参加人数 平均8,000歩以上



アプリのチーム機能でメンバーとコミュニケーション



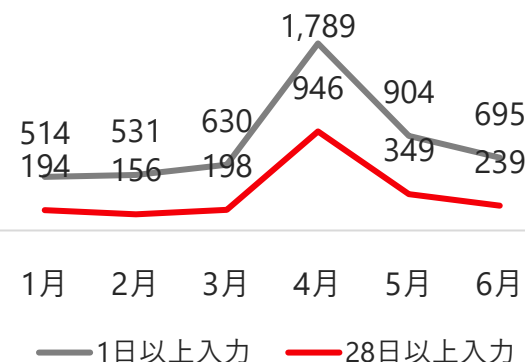
社内SNSへウォーキング中の写真を投稿して社員間のコミュニケーションを促進



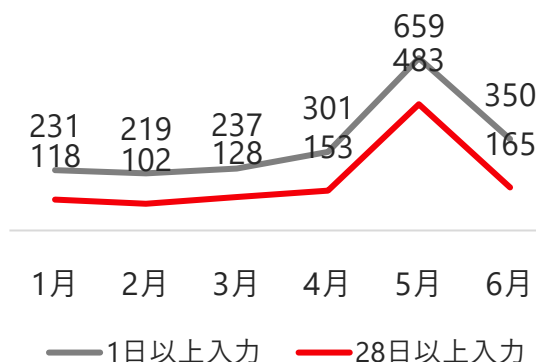
体重・血圧記録の習慣化

健康アプリWellGoに1ヶ月間毎日の体重や血圧を記録するイベントを実施して健康的なライフスタイルを促進しています。（体重：4月、血圧：5月に実施）

体重チャレンジ（4月）

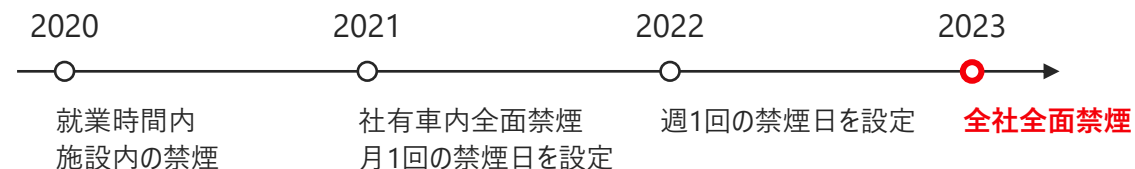


血圧チャレンジ（5月）



禁煙推進

2019年に禁煙ロードマップを定め段階的に禁煙ルールを導入してきました。2023年1月からは全社全面禁煙がスタートしています。



2023年の取り組み

女性セミナー

産婦人科医の高尾美穂先生をお招きして男女の違いに関するセミナーを行いました。質疑応答では事前に受け付けた質問に加え参加者からも多数の質問がありました。

参加者のこえ

女性は男性と比較して働き盛りの年齢の時になりやすい病気が多かったり、生理等で体調万全じゃない日が多いことが理解できた。

小中学生以来の保健体育でした。当時から比べると、身近なことであり、内容もアップデートされていて、学びになりました。

女性の体についてもキチンとわかっていませんが、それ以上に異性(男性)については理解していませんでした。以前よりは異性についてわかってあげられそうですし、そうしたいと思いました。



参加・視聴数 **323**人

満足度 **95**%

チーム対抗ウォーキングイベント

健康増進を習慣化するために、チーム対抗のウォーキングイベントを実施しています。期間中のチームの平均8,000歩達成日数を競います。



健康増進アワード概要

期間中にチームメンバー各々が8,000歩を達成した合計日数をメンバー数で割ってチームの平均8,000歩達成日数を算出します。

ウォーキングによる個人の健康だけでなく、コミュニケーション創出による組織の健康にもつなげていきます。

参加チーム数

57チーム

参加人数

491人

毎日8000歩達成

No.1チーム

121.6日 / 122日

9月末時点



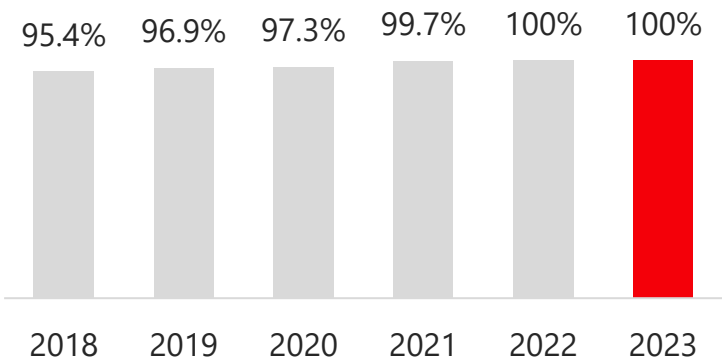
取り組みによる効果

ハッピーなひとときを
ボトルから。
We bottle happy moments.

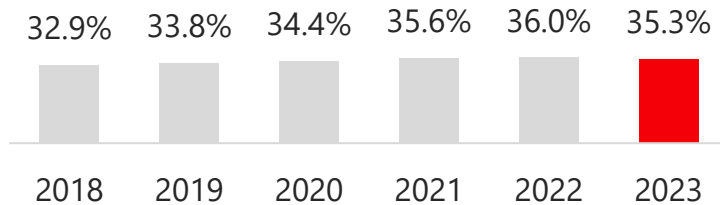
Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.

健康課題の改善状況

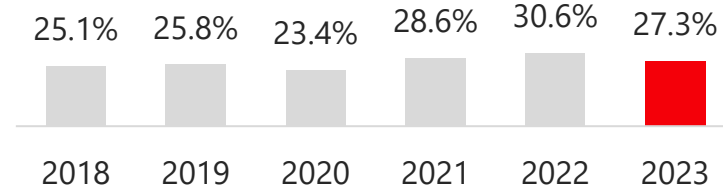
受診率



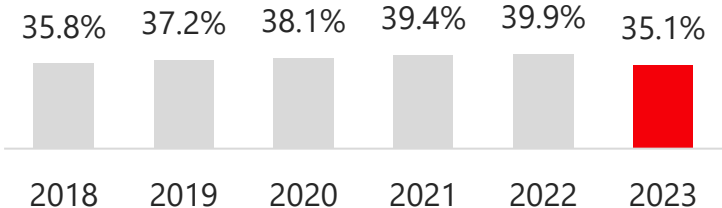
BMI25



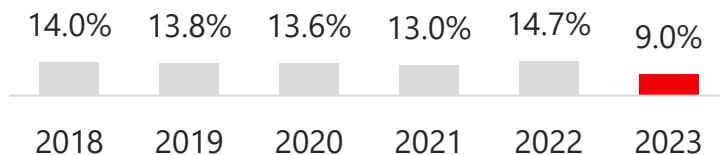
血圧



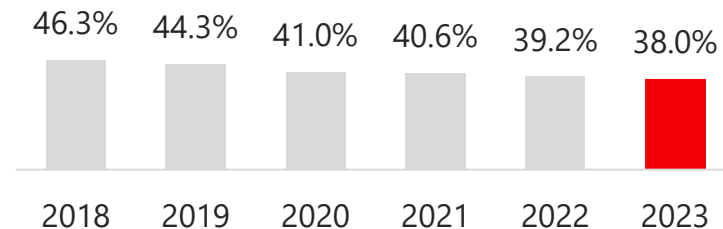
脂質



血糖



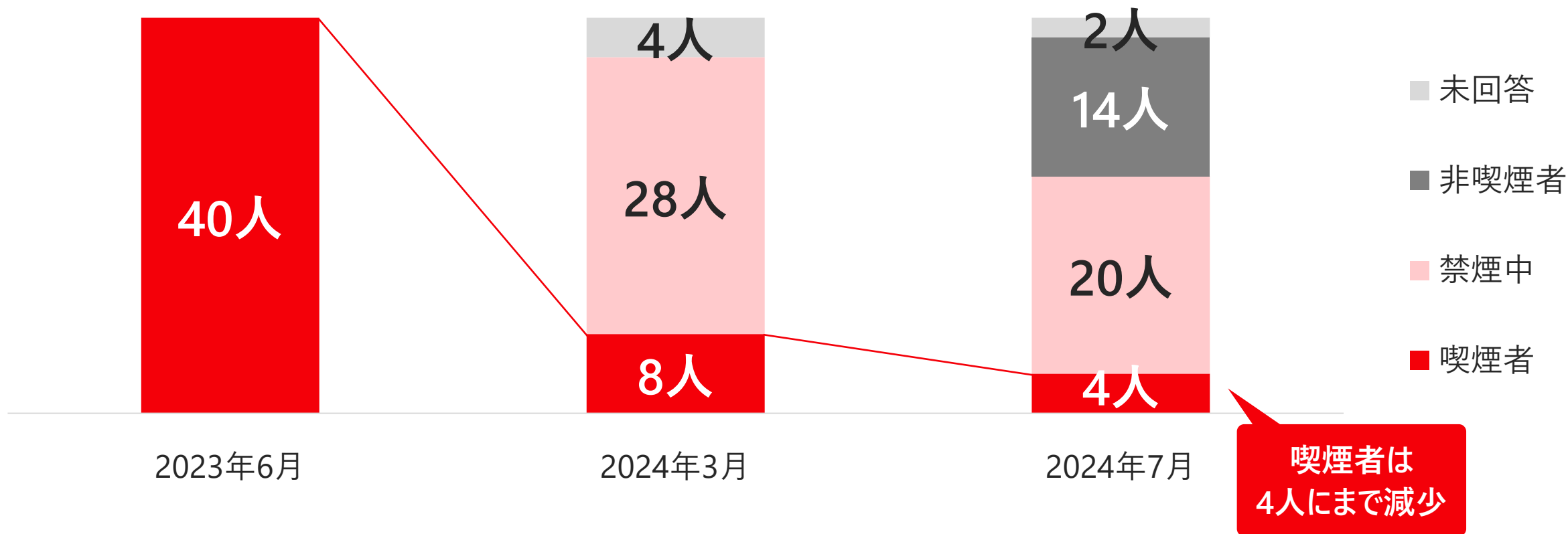
喫煙率



健康施策実施による効果

2023年6月から上級管理職の喫煙者40名に対して禁煙を含む健康状態の改善について産業医面談を繰り返し実施しました。その結果、2024年7月時点で40名中14人が禁煙に成功、20人が禁煙中という結果になりました。

上級管理職の禁煙状況





健康投資額

ハッピーなひとときを、
ボトルから。
We bottle happy moments.

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.

健康投資額

毎年社員※1に健康ポイントとして20,000ptを付与している他、任意健診、ワクチン接種補助や、熱中症対策、禁煙サポートなどを実施しています。この他に家族の人間ドッグやワクチン接種もサポートしています。

健康ポイント

20,000ポイント

健康増進グッズ購入または
人間ドッグ受診費用に充当可能

任意健診補助

最大22,000円

協会けんぽ任意健診や人間ドッグを
受診する場合に上記金額をサポート

ワクチン接種補助

1,000円

インフルエンザワクチン接種時に
補助金を支給

熱中症対策

4ヶ月分

現業社員の熱中症対策として
6月～9月に1日1本飲料を支給

禁煙サポート

50,000円相当

オンライン禁煙プログラム参加者の
費用を全額補助

家族に対する補助

最大35,000円

人間ドッグやワクチン接種など
被扶養者の健康もサポート

※1 協会けんぽ加入者



今後の課題

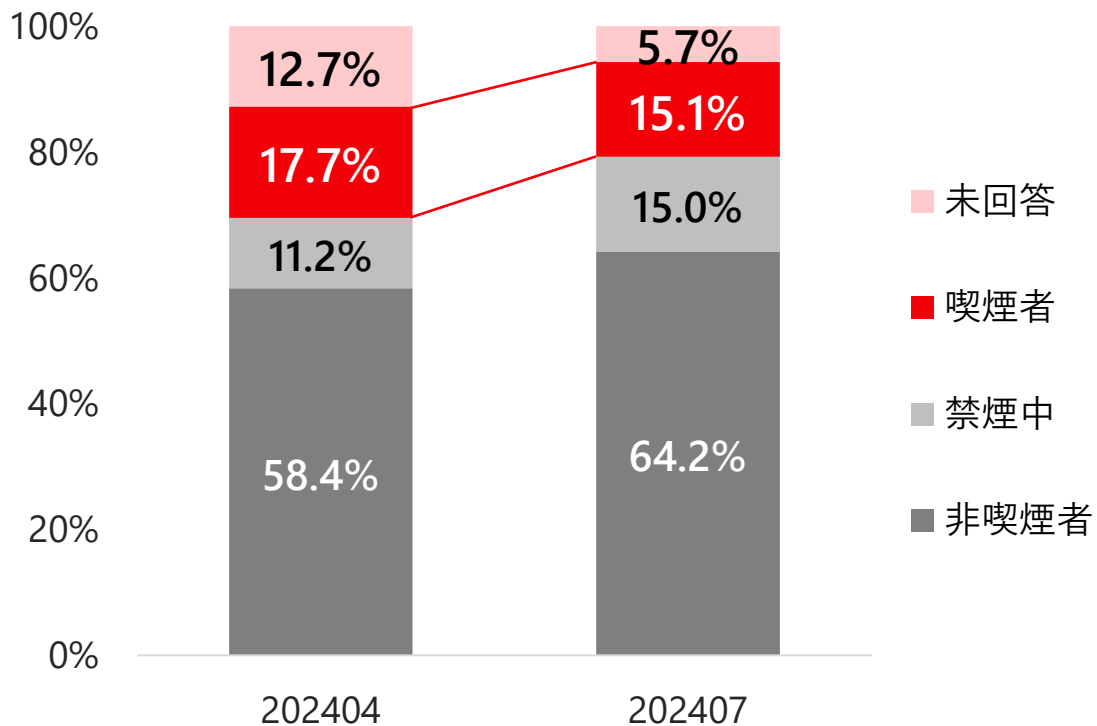
ハッピーなひとときを、
ボトルから。
We bottle happy moments.

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.

喫煙者への個別アプローチ

2024年から定期的に、管理職を対象にした喫煙状況調査を実施しています。その中で禁煙の意向がないと回答した人に対して医療職が適切なサポートをできるように、調査項目を追加して喫煙理由ごとにアプローチをしていきます。

管理職への喫煙状況調査の結果



意向がない理由	アプローチ
ストレス解消になるから	喫煙によってストレスが解消されているという誤った解釈に対して正しい情報を提供
禁煙を試みたが失敗したから	禁煙を試みたこと自体を賞賛し、再度チャレンジできるよう前向きな声掛け
禁煙する必要性を感じていないから	必要性を深掘りして意識と行動変容につなげる
周囲に喫煙者が多く、環境を変えづらいから	グループでの禁煙チャレンジを提案
禁煙すると太りそうだから	禁煙に加えて食事や運動に関する情報を提供し禁煙を支援
ニコチン依存が強くやめられないから	オンライン禁煙外来など医療的なサポートを提案
健康リスクをそれほど重大視していないから	喫煙がもたらす人体への影響や、それがもたらす健康リスクを直接伝える



地域社会との「健康」の共創

ハッピーなひとときを、
ボトルから。
We bottle happy moments.

Coca-Cola
BOTTLERS JAPAN INC.

地域社会との「健康」の共創

飲育（いんいく）セミナーの開催

正しい水分補給に加えて、そのときどきのシーンや体調に合った飲み物の選び方をお伝えする飲育（いんいく）セミナーを開催しています。



スポーツクリニック

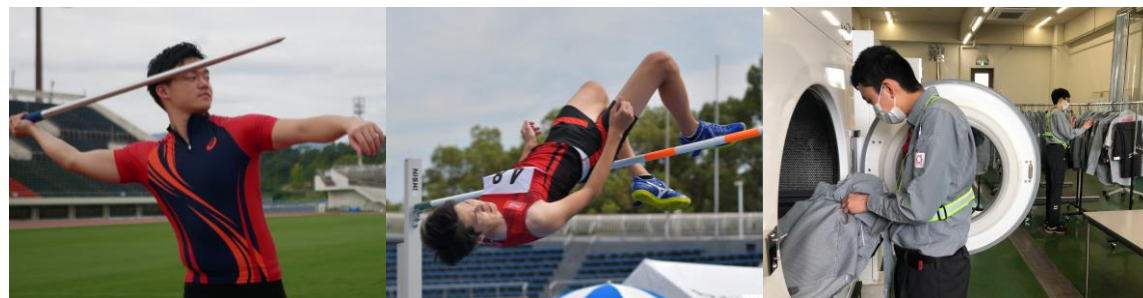
コカ・コーラレッドスパークスホッケー部によるホッケー教室や、小学校への講師派遣を通して誰もが活動的で健康的に過ごせる社会づくりに寄与しています。



開催数 **14回**
参加人数 **550人**

障がい者支援

アスリート支援に加え、障がいのある人財がそれぞれの強みを発揮して活躍できる就業環境の提供を目指し2019年に特例子会社を設立しました。



パラアスリート・デファアスリートの活動支援

特例子会社でのランドリー業務

ウェルネスプログラム

食生活記録・改善アプリ「あすけん」とコラボして自動販売機設置先企業さまにアプリの利用をサポートするプログラムを2023年からスタートしました。